

3 学期 始業式

校長 析倉 和則

元日早々、大きな地震がありました。今もまだ家屋の倒壊などにより行方不明の方々もおられます。皆さんの中にも親戚や知人などがいらっしゃるかもしれません。令和6年能登半島地震によって亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げるとともに、心からお見舞い申し上げたいと思います。

さて、今年も明けて早、一週間がたちました。暮れの大掃除で清々しくしたところ、まだきれいに保っていますか。

掃除は喜んでというより、仕方なくする程度に軽々しく考えられがちですが、実は大変大事な事なのです。たとえば日本には昔から剣道、弓道、柔道、茶道、華道など、何々道といわれるものがたくさんありますが、それらの稽古の前とあとには必ず稽古場の清掃をします。それは、技術そのものの習得と同時に、心を磨くための道であるのですから、心をこめて道場の清掃をすることもまた大事な修行になるのです。道の奥義を極めることは即ち、人としての奥義を極めることで、そのために道場の清掃はきわめて大切な修行なのです。

「来た時よりもきれいにして帰ろう」とても日本的な考え方だと思います。来た時よりもきれいに…よくよく考えてみると、あり得ない話ですけれど。

さて、仏教の言葉のようですが、一、作務 二、勤行 三、学問と言われています。

まず、一番が作務です。作務とは、掃除や片付け、庭の草取りや、昔ですと薪を割って風呂をたいてと、要するに体に汗して働く作業です。その中でも作務の代表は掃除です。

そして、二番目に勤行。これは経を読んだり、坐禅をしたりというお勤めです。

最後に、学問。仏教やその他の勉強です。今の子供なら、「一に勉強、二に勉強、三四がなくて、五に勉強」と、掃除なんかどうでもよいと言われそうですが、それはあまりに勉強しないので、少なくとも勉強くらいしろよという意味かと思います。何はともあれ、お寺のお坊さんは掃除が一番、勉強は三番目です。人格を完成させるための手段のひとつとして作務の大切さを教えるのです。

これを私たちの生活に適応させてみましょう。作務、掃除、身の回りの環境を整えるということですね。清潔に保つことで健康も守られます。次に勤行、一見無意味に思われるようなことでも、ただひたすらに継続してみましょう。朝、定刻に起きる。遅刻せずに学校に来る。授業はきちんと受ける。そんな当たり前のことを受け入れ、愚直に繰り返してみましょう。そして、学問。学問とは、学ぶという字と問うという字からなっ

ています。すなわち、学び、問うこと。もう少し言うと、学ぶは「まねぶ」と言われます。まねをすること。習ったことを受け入れ、繰り返すこと。学ぶことができたなら、さらに問い続けること。ここが大切。私も修士論文を書いたときに指導教授から、いつも、「それで?」「なぜ?」と問い続けられたことを思い出します。少々舌足らずな表現があると、必ず「それで?」「何がいいたいの?」と言わんばかりです。少々論を飛ばしてしまうと、「なぜ?」「そんなこと書いてないじゃない」などによく言われたものです。「それで?」と「なぜ?」。この二つがキーワードだと考えています。

年末にサーモグラフィを片付けていて、気づいたのです。三年間、コロナのせいで電源入れっぱなしで、暑い日も寒い日もこき使われてきた、埃まみれになって働いてくれた、サーモグラフィです。本校には4セットありました。そこを見ると、ラックに誰かの教科書、プリント類、ゴミが詰め込まれていました。名前が書かれたものもあったので、返そうかとも思ったのですが、ここでこういう話をすれば気づいていただけるものと信じて、名前は挙げません。で、サーモグラフィ、一台一台、取り外してパソコンも更新作業をしてしまっておりま。またいつでも、その時になったら使えるようにね。…もうそんなことないことを祈りますけれど。

そして、学校じゅうの古いポスターを剥がしたりしているうちに、結構埃が積もっているな、ゴミがあるなと気づいたんです。トイレ工事の関係で、散らかっているところに便乗するかのように置かれたペットボトル、階段の手の届かない段のところに投げられたお菓子の包み紙・・・

実は、こういうところから学校はレベルが下がります。割れ窓理論って、知っていますか。一軒の家の窓が割れている。…そのままにして置くと、その地域での犯罪率が上がるという現象です。割れた窓を放っておくということは、住民が地域で起きることに関心がないことを意味します。何が起きても周囲が無関心だとなると、他から来た人は好き勝手をしやすく、住人自身も無責任なことをしがちになります。その結果、地域の治安が悪化し、犯罪者に都合のいい環境ができるのです。

実は、掃除道などという本も出ています。掃除をするだけで赤字から黒字に転じた企業、復活した学校などが書かれています。

古い校舎ではありますが、掃除することで校舎を少しでも美しく整ったものとし、みなさんも落ち着いた生活を送ることができます。豊多摩を無法地帯にはさせません。今年も、気づいたところはさっと片付け。皆さんも、教室をきれいに、心をきれいに。それでは、

新しい年も、晴れやかな気持ちで、Touch the Sky!